

## 別添 1

### (1)② 滋賀医科大学医学部附属病院(滋賀県)における臨床検査値の処方箋への記載に関する取組事例

#### 1. はじめに

CKDシールについては、腎臓学会の CKD 普及が最初の目的で開始された。薬物動態については、薬剤師が慣れている情報であるともいえるために、薬剤師の積極的な関与が期待される分野でもあるが、病院と薬局の情報格差の実態が問題でもあった。

#### 2. ヒアリングでのポイント

##### ① 患者とのコミュニケーションについて(参考スライド)

CKD シールのみならず、検査値の掲載も実施しているので、患者への服薬指導の手助けになっていると思われる

##### ② 他職種との連携について

腎機能低下患者のお薬手帳の表紙に貼付することにより、医師・薬剤師間で情報共有を図っている。また、薬局薬剤師が鑑査・疑義照会を行うことにより、大きな情報源となっている点も感じるし、患者情報に基づいた疑義照会が、薬局薬剤師の意識醸成に貢献しているようにも感じる。実際、CKDシール導入後、疑義照会件数が 10 倍ほどに増えている。

##### ③ 業務上の課題について(工夫の提案含む)

薬局の薬剤師が病院薬剤師の仕事を知ることは重要であり、情報共有の促進にむけては、カルテの見方・書き方も必要である。また、退院時カンファレンスは主治医、患者、看護師、ケアマネがメインの様で、薬局薬剤師が出てくるのは難しいように感じられる。薬局薬剤師への情報共有推進に向けては、患者情報を、様式を決めて求めることも一案であると思う。





# 滋賀県医師会・会報でのCKDシールの紹介(2013.12月号)

## 学術

### 滋賀県全域におけるCKDシールを活用した医薬連携

滋賀医科大学医学部附属病院  
薬務部 磯野野一郎  
寺田 智裕  
糖尿病・腎臓・神経内科 宇津 實

#### 1. 背景

慢性腎臓病(Chronic Kidney Disease: CKD)患者の増加が、社会的にも問題となっている。CKD患者の多くは、高齢であり糖尿病や高血圧症などの基礎疾患を有していることから、複数の基礎疾患を合併し薬剤を服用している患者が多い。腎機能が悪い場合、腎排泄型の薬剤を通常用量で投与すると、血中濃度が上昇し、薬効の増強や副作用が多く現れる。従ってCKD患者では、原則として腎排泄型の薬剤を避け、非腎排泄型の薬剤や腎排泄の少ない薬剤を選択することが望ましくされている。また、抗炎症薬の一部や非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)は、腎機能を低下させることから留意が必要であり、特に長期にわたるNSAIDs使用はCKDの発症・進展リスクを高めることが広く知られている。

院内スタッフであれば、患者の腎機能の把握は比較的容易であるが、院外処方せんを応用し

になっているが、腎機能を悪化させる薬剤が処方されていないかをチェックする。③処方内容に問題があれば、処方医に問い合わせ、処方変更を提案する。このような流れになっている。また、お薬手帳を更新する際は、薬局薬剤師が新しい手帳にCKDシールを貼付することとした。



図1 CKDシール

#### 3. アンケート

2012年3月からCKDシールの運用が開始されたが、その運用状況を把握するため、運用開始4ヵ月後の2012年7月に、滋賀県下の保険薬局(461店舗)に対してアンケートを実施した。

# CKD連携推進会議の発足

～医療圏毎に医師、薬局薬剤師、病院薬剤師のメンバーを選出～



# CKDシールのメリット

みんなでももてるあなたの腎臓

ふせごう慢性腎臓病(CKD)



慢性腎臓病(CKD)は成人の8人に1人が有する新たな国民病です。滋賀県では、CKDを早く見つけその進行を防ぐために、お薬手帳にCKDシールやCKD診察パスなどをもちい、連携診療を行っています。

## 運用面

■ 低コスト

■ 簡便性

## ネットワーク作り

■ 連携促進

■ 意識醸成

# 処方箋への検査値の掲載(2015年5月～)

検査項目	結果値	単位	参考値
検査項目 Hb	13.8	g/dL	13.1-15.1
検査項目 Hct	42.2	%	41.6-47.0
検査項目 RBC	422	10 <sup>6</sup> /mm <sup>3</sup>	416-470
検査項目 WBC	7.1	10 <sup>3</sup> /mm <sup>3</sup>	4.0-10.0
検査項目 PLT	162	10 <sup>3</sup> /mm <sup>3</sup>	130-400
検査項目 AST	18	U/L	15-35
検査項目 ALT	18	U/L	15-35
検査項目 Cr	0.34	mg/dL	0.6-1.2
検査項目 eGFR	62	ml/min/1.73m <sup>2</sup>	90-120
検査項目 BUN	12	mg/dL	7-20
検査項目 Urea	1.15	mmol/L	2.8-7.1

患者さんへの連絡事項  
この処方箋は、保険などの確認のため薬剤師窓口へお出し下さい。  
処方箋の使用期限は 平成28年03月05日 です。  
記載の使用期限を過ぎた場合、保険薬局でお薬をいただけることが出来ません。  
以下の検査値は、検査結果をお薬の種類や用量を確認し、副作用を予防するために必要なものです。

保険調剤薬局への連絡事項  
下記項目は、処方箋や服薬指導などに活用下さい。  
患者さんの希望するは、切り替えてお渡し下さい。  
検査値 (90日以内)に異常のある検査値を赤字で表示しています。)

身体情報 (未測定や既値「1」の場合もありです)  
身長 162.0 cm 測定日 2015/09/10  
体重 60.0 kg 測定日 2015/09/10  
体表面積 1.65 m<sup>2</sup>  
Cr=36 mL/min

# CKDシール貼付の現在の基準

貼付:腎臓専門医、病院薬剤師、薬局薬剤師(検査値を確認できた場合)

外来診察時、eGFRが60mL/min/1.73m<sup>2</sup>未満の患者のお薬手帳の表紙にCKDシールを貼付

# ある薬局における腎機能による疑義照会件数

疑義照会の多かった診療科

- 1) 泌尿器科
- 2) 皮膚科
- 3) 循環器内科

